

自然と社会と人に深くかかわる企業としての責務。

環境負荷低減に向けた取り組み

大成建設グループでは、環境方針として「持続可能な環境配慮型社会の実現」を定め、目標達成に向けてグループ長期環境目標「TAISEI Green Target 2050」を掲げて3つの社会(脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会)の実現と2つの個別課題(森林資源・森林環境、水資源・水環境)の解決を目指しています。当社もグループの一員として事業活動に伴うエネルギー使用量およびCO₂排出量を集計、産業廃棄物排出の適正処理など、環境負荷低減に努めています。

工場ではグリーン電力採用や燃料転換等、オフィスではこまめな消灯を推進、作業所では建設廃棄物の発生抑制等、すべての事業場で環境負荷低減活動を積極的に行っています。

環境データ(2023年度)

■エネルギー使用量

	作業所	工場	オフィス	合計
電力使用量合計	295,493	30,311,044	3,401,604	34,008,141
電力(kwh)	295,493	22,589,543	2,980,339	25,865,375
再エネ電力 ^{※1} (kwh)	0	7,721,501	421,265	8,142,766
軽油(L)	5,563,767	1,404,390	0	6,968,158
A重油(L)	0	8,753,900	0	8,753,900
灯油(L)	5,920	1,989,860	57,610	2,053,390
ガソリン(L)	365,959	129,569	958,631	1,454,158
LPG(Kg)	24,260	1,066,255	22,134	1,112,649
都市ガス(m ³)	14	3,845,002	14,760	3,859,776
GTL(L)	0	35,747	0	35,747

※1 再生可能エネルギーを電源とした電力

■CO₂排出量(t-CO₂)

	作業所	工場	オフィス	合計
CO ₂ 排出量(スコープ1+2)合計	15,645	55,087	3,934	74,666
スコープ1 ^{※2}	15,502	44,179	2,436	62,117
スコープ2 ^{※3}	142	10,908	1,498	12,549
電力(kwh)	142	10,908	1,498	12,549
軽油(L)	14,577	3,680	0	18,257
A重油(L)	0	24,073	0	24,073
灯油(L)	15	4,975	144	5,133
ガソリン(L)	838	297	2,195	3,330
LPG(Kg)	73	3,188	66	3,327
都市ガス(m ³)	0	7,882	30	7,913
GTL(L)	0	84	0	84

※2 燃料の燃焼等、事業者自らによる温室効果ガスの直接排出

※3 電気・熱・蒸気の使用に伴う温室効果ガスの間接排出

■産業廃棄物排出量

	作業所	工場	合計
建設廃棄物排出量(t)	304,315	1,076	305,392
リサイクル量(t)	302,361	861	303,223
最終処分量(t)	59	6	65

■対象事業所数

	作業所	工場	オフィス
集計対象事業所数	28	38	76

CO₂排出量推移(部門別)

2050カーボンニュートラルの実現に向けて、大成建設グループの2030年度目標ではCO₂総排出量をScope1+Scope2で▲42%、Scope3▲25%(ともに2022年度比)と設定しました。当社の2023年度CO₂排出量は、過去2年間と比べてすべての部門で削減しました。建設事業部門では重機の燃費データの見直しを行い、製品事業部門・オフィス部門ではグリーン電力導入の拠点数の増加等、取り組みを進めました。

今後もグループの削減目標に向けてCO₂排出量の管理・把握とともにさらなる削減に努めてまいります。

■CO₂排出量(部門別)

